

# 小学校SDGs 第6学年

## 持続可能な社会づくりを担う児童の育成

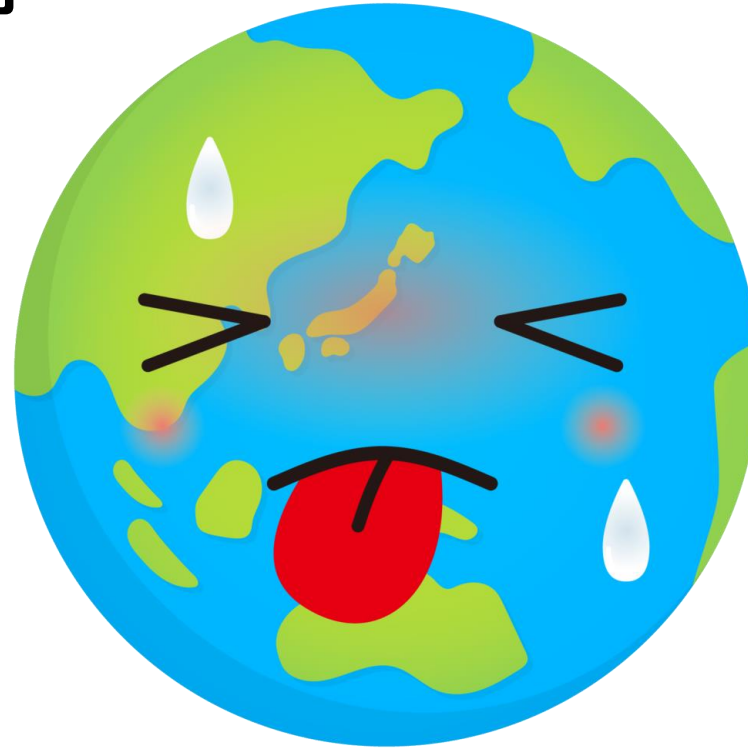
～ E S D の視点で考える社会科学習指導の工夫を通して～

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



豊見城市立上田小学校  
赤 嶺 英 幸

# I テーマ設定の理由



# 持続不可能



# I テーマ設定の理由

国連 ⇒ 持続可能な開発に関する世界首脳会議

SDGs

- ・ 2015年～2030年
- ・ 持続可能な開発目標
- ・ Sustainable Development Goals



ESD

持続可能な開発のための教育 (ESD) の推進  
Education for Sustainable Development

# I テーマ設定の理由

## これまでの実践 . . .



教師主導



発問

やらされている

# I テーマ設定の理由

## 「主体的・対話的で深い学び」

発問

自由進度学習

ICT

学習を調整

探究

課題解決

# I テーマ設定の理由

## 「持続可能な社会づくりを担う児童」



ESDの視点

協働的な学び

## II 研究目標

- 1 SDGs達成に向けて主体的に学んでいく手立てとしてのESDの推進と個別最適で協働的な学びの研究を深める
- 2 ESDの視点を取り入れた学習指導を促進する社会科学学習の実践と考察



# V 研究の内容 1

## (1) SDGs達成を実現するためのESDとは

ESD



地球規模の課題を  
自分ごととして捉え、  
その解決に向けて自  
ら行動を起こす力を  
身に付ける教育

ABLE GOALS





# V 研究の内容 1

## (2) ESDで育成したい能力・態度について

持続可能な社会  
づくりの構成概念  
(見方・考え方)

- I 多様性
- II 相互性
- III 有限性
- IV 公平性
- V 連携性
- VII 責任性

ESDの視点に立った学習指導で  
重視する能力・態度  
(育みたい力)

- ①批判的に考える力
- ②未来像を予測して計画を立てる力
- ③多面的、総合的に考える力
- ④コミュニケーションを行う力
- ⑤他者と協力する態度
- ⑥つながりを尊重する態度
- ⑦進んで参加する態度

# V 研究の内容 1

## (3) ESDで育む「持続可能な社会づくりを担う児童」とは

主体的・対話的で深い学び

持続可能な社会  
づくりを担う児童

一体的に充実

個別最適な学び

指導の  
個別化

学習の  
個性化

協働的な学び

自由進度学習

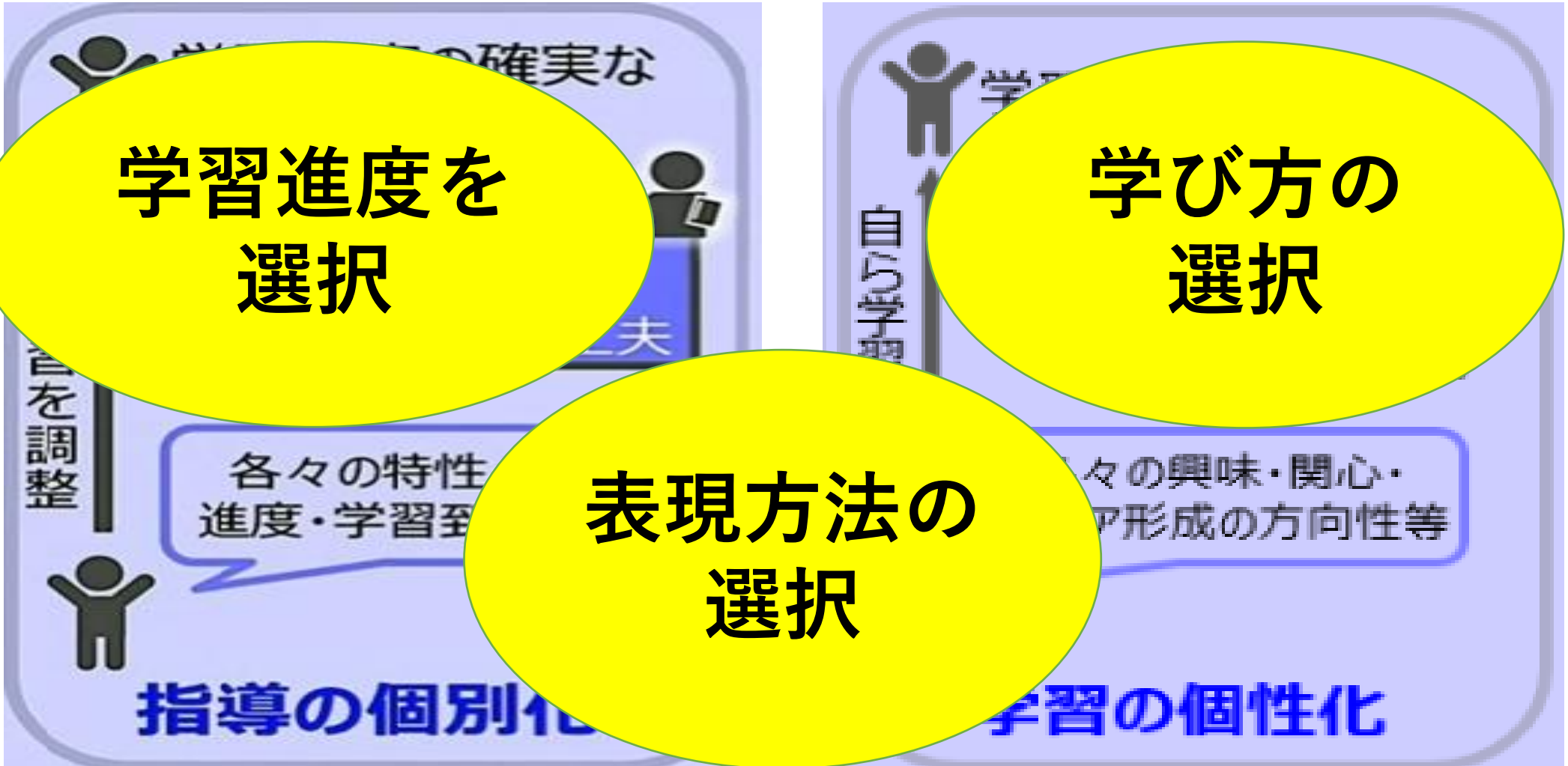
# V 研究の内容2

## (1) 個別最適な学びにおける「指導の個別化」と「学習の個性化」

学習進度を  
選択

学び方の  
選択

表現方法の  
選択



# V 研究の内容2

## (2) 自由進度学習

### 子どもの メリット 6選

- 1: 自分で考える力が身につく
- 2: 自分に問いかける習慣が身につく
- 3: 高いモチベーションで学びに向かう経験を重ねることができる
- 4: 計画を立てる癖、見通しをもつ癖がつく
- 5: 自制心が鍛えられる
- 6: 自分から行動を起こすのが当たり前になる



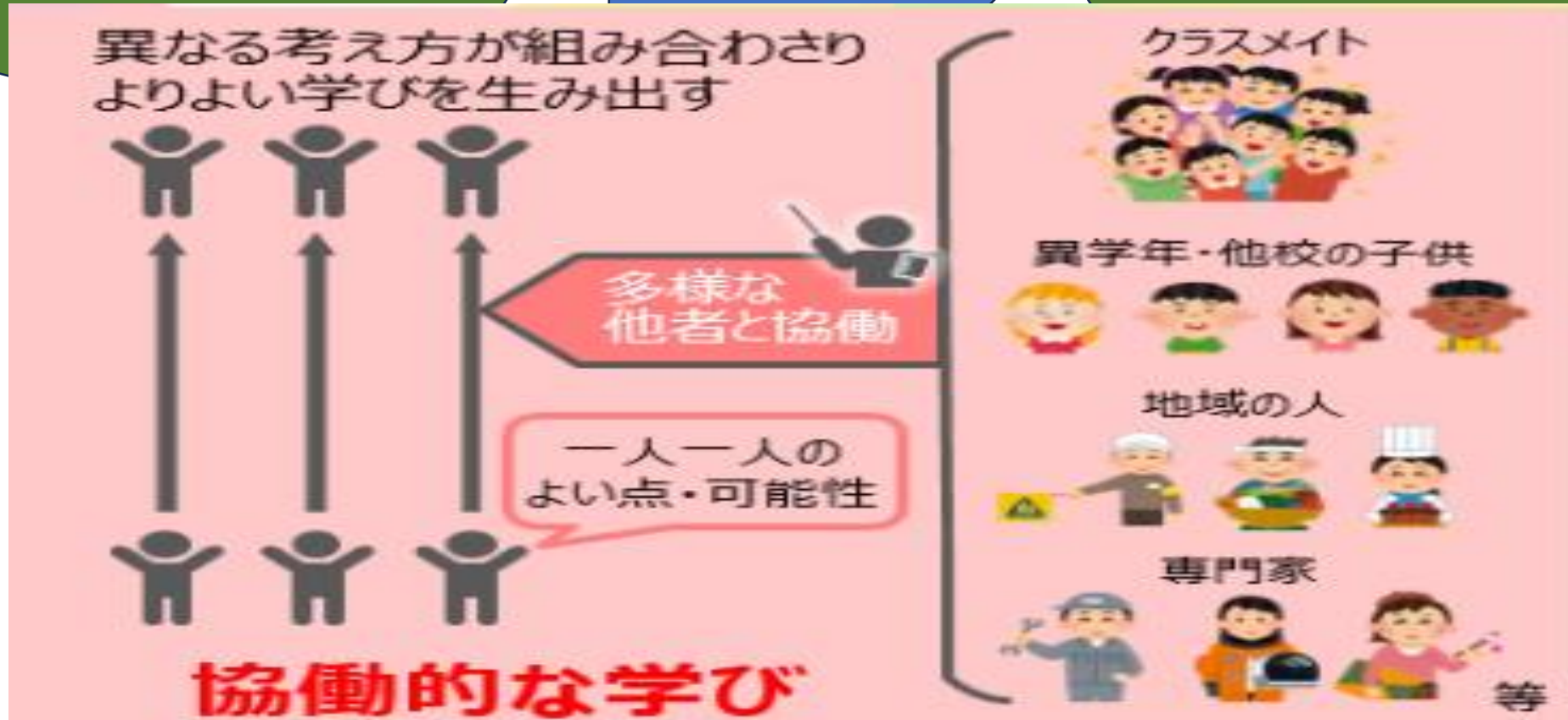
学習を自分で選択・調整

# V 研究の内容2

## (3) 協働的な学び

個別最適

協働的



# V 研究の内容 2

## (4) ESDの視点と社会科学習のつながり

社会科学習  
(問題解決型学習)

探究

総合的

批判的

多面的



## VI 研究の実際

社会科「国づくりへのあゆみ」（全9時間）

学習問題をつかむ（一斉授業）



学習課題を立てる

# VI 研究の実際

## 調べる（自由進度学習）



指導の個別化



学習の個性化

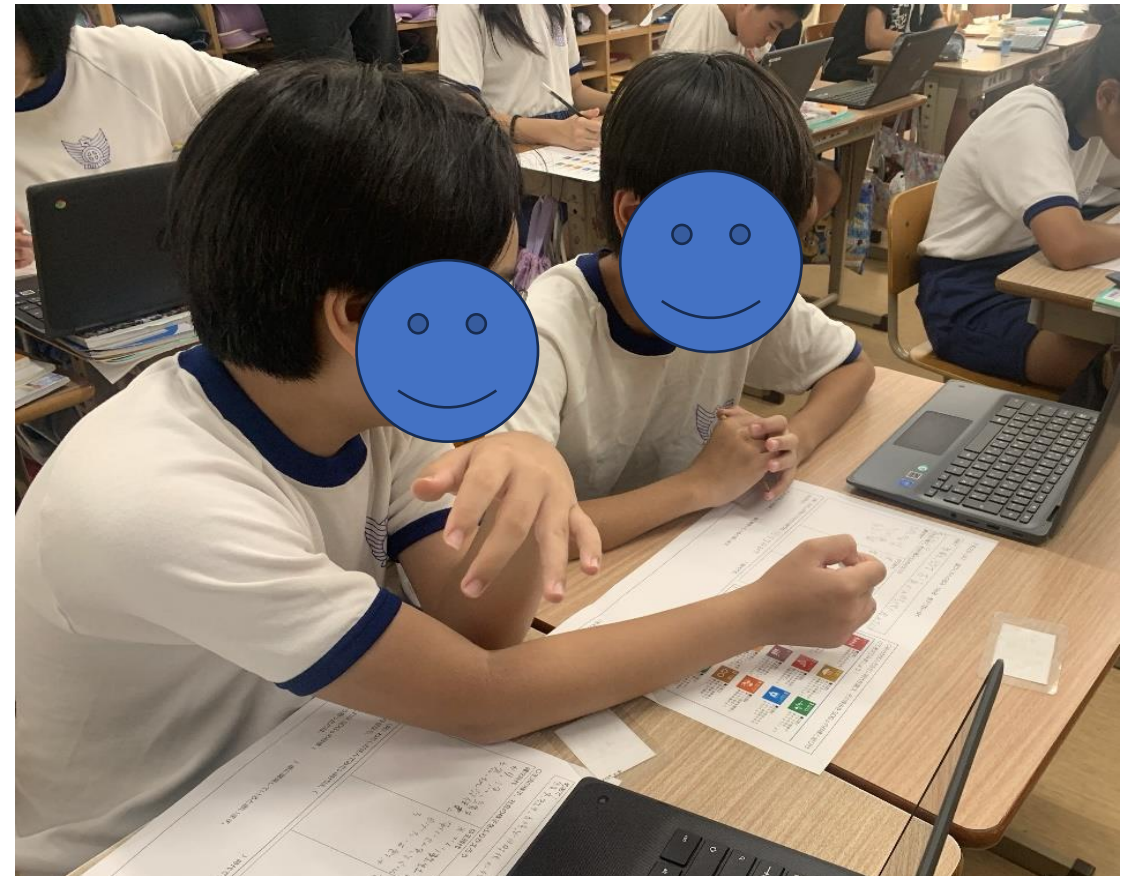
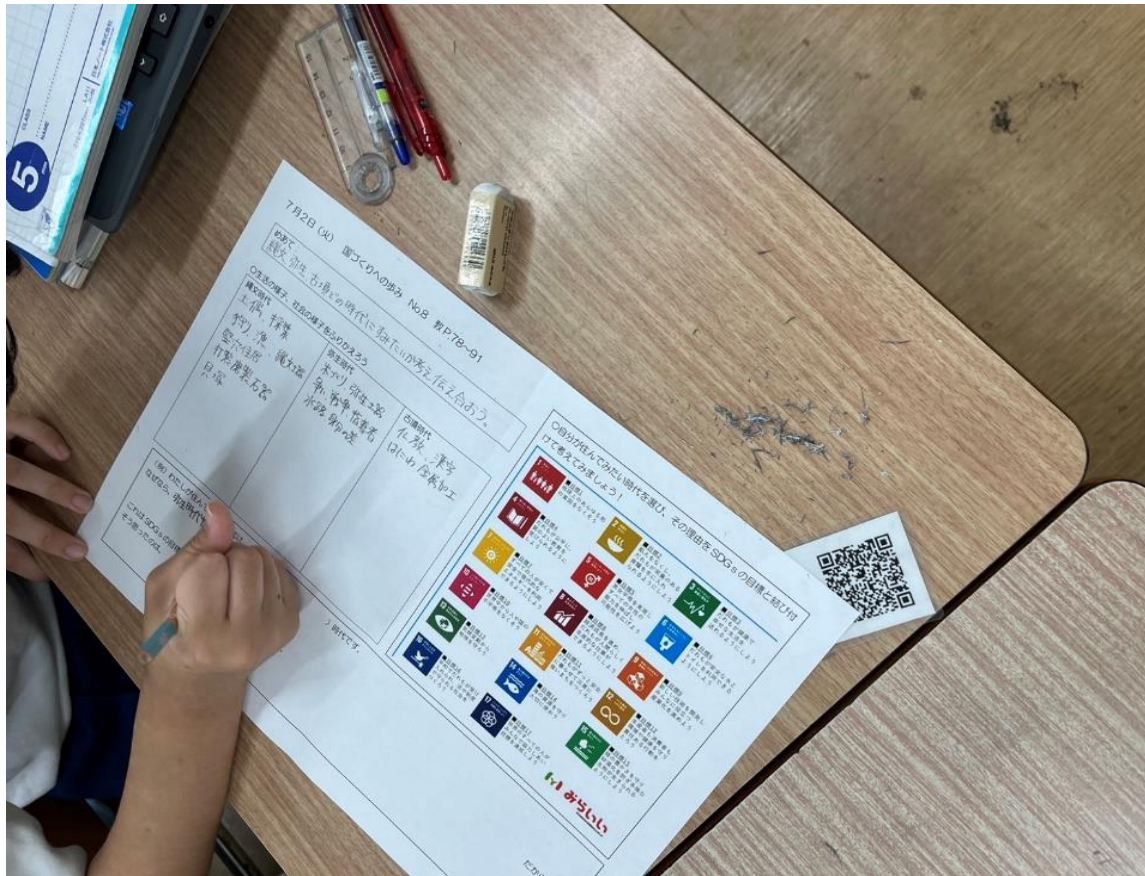




# VI 研究の実際

## 考え・まとめ（協働的な学び）

### ① 「どちらの時代に**住みたい**ですか？」（検証授業）



# VI 研究の実際

## 考え・まとめ（協働的な学び）

### ② 「どちらの時代に**住みたくない**ですか？」

**それぞれの時代に課題を発見！**

(例) わたしが住みたくない時代は、(縄文時代) 時代です。  
なぜなら、トイレがないからです。  
今は、きれいなトイレをいって  
もつがえるから

(例) わたしが住みたくない時代は、(弥生時代) 時代です。  
なぜなら、武器があるからです。

(例) わたしが住みたくない時代は、(古墳時代) 時代です。  
なぜなら、

これはSDGsの目標(6)番に関係していると思います。  
そう思ったのは、安全な水とトイレがあることでみんながこちよトイレ  
ができて、

これはSDGsの目標(10)番に関係していると思います。  
そう思ったのは、支那の時代は、他の人から自衛隊がうんこ  
身に着かせるのは、武器の時代だからです。

これはSDGsの目標(8)番に関係していると思います。  
そう思ったのは、  
自分のいしで働きたいから

**縄文**

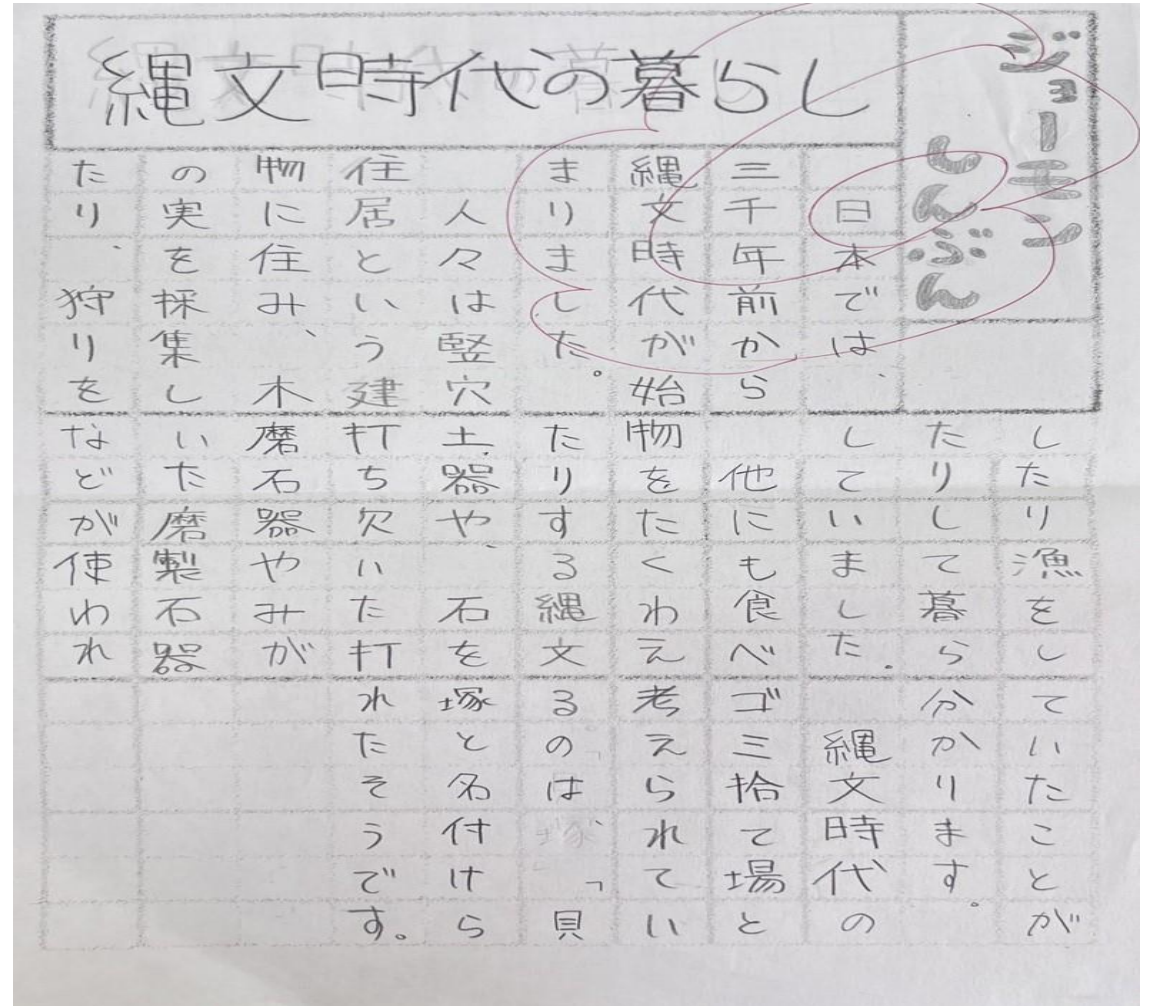
**弥生**

**古墳**



# VII 研究のまとめ

## 1 個別最適な学びとしての「自由進度学習」について



## VII 研究のまとめ

### 1 個別最適な学びとしての「自由進度学習」について

自分のペースで進められるので  
頭に入りやすい。

100%

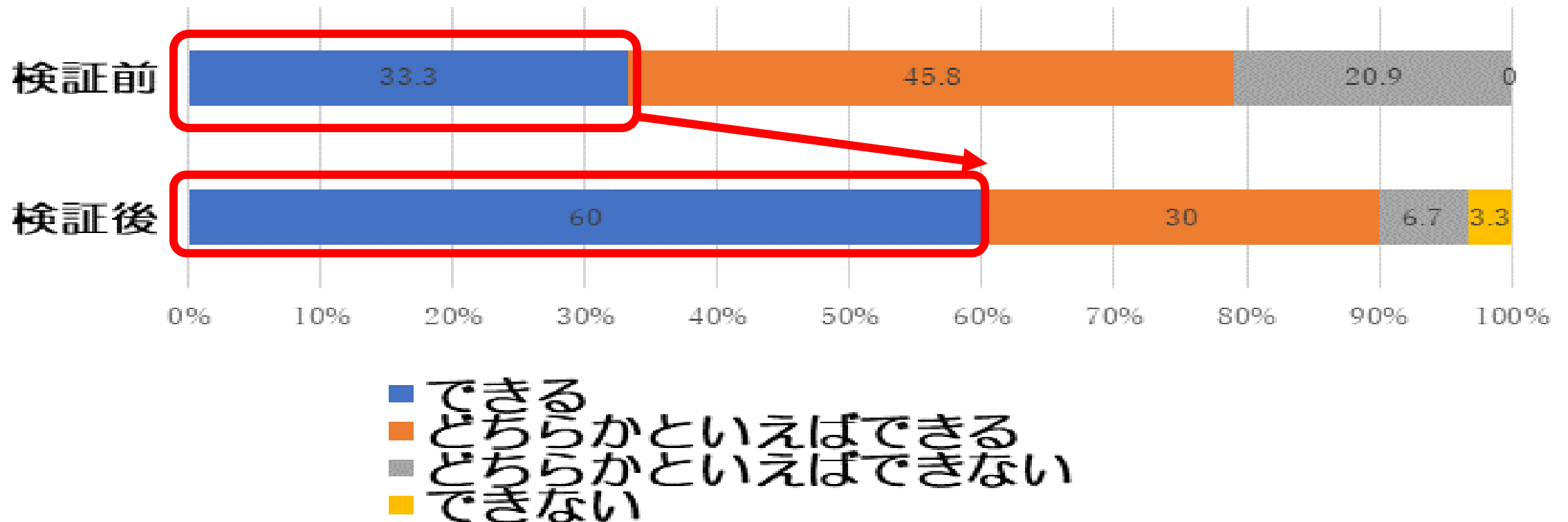
■ どちらかといえば好き  
● どちらかといえば嫌い ■ きらい



# VII 研究のまとめ

## 2 協働的な学びについて

友達の話を聞いて、自分の考えを持ったり、変化させたり、もっと良くすることができますか？



# VII 研究のまとめ

## 2 協働的な学びについて

自分の意見を理由と結び付けながら相手に伝えることができますか？

検証前

12.5

54.2

25

8.3

検証後

40

36.7

23.3

3.3

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

- できる
- どちらかといえばできる
- どちらかといえばできない
- できない

# VII 研究のまとめ

## 2 協働的な学びについて

住んでみたい時代

い時代は、( 弥生 ) 時代です。

なぜなら、米づくりをやってみたいと思ったからです。弥生時代に米づくりをやってみたいと思った理由は、米づくりが広まったのは弥生時代が最初だから

**弥生時代に「住みたい」から「住みたくない」へ**

住みたくない時代は、( 弥生 ) 時代です。

なぜなら、最初は米づくりとかしてみたいと思ったけど、よく考えたら戦争してるのいやだし身分の差があるのもいやだ

# VII 研究のまとめ

## 3 ESDの視点を取り入れた社会科学習の有効性

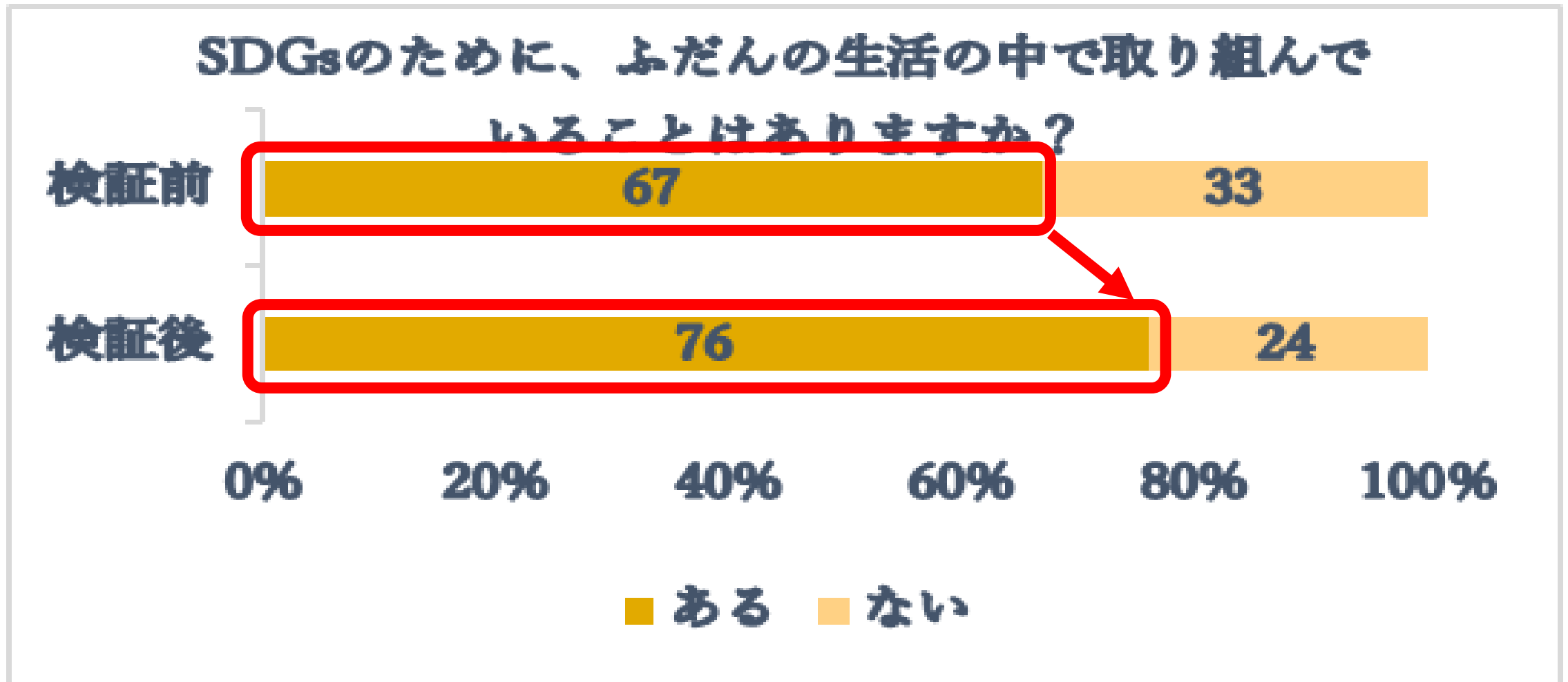
今のままでは、将来世界がどうなるかわからない

思う

大切に思う理由は、自分たちの環境、  
生活を見直すことができる

# VII 研究のまとめ

## 3 ESDの視点を取り入れた社会科学習の有効性



## VIII 考察

### (1) 個別最適な学び

→自由進度学習により、自分のペースで学習を進められるようになり、教師も児童の実態を把握・支援しやすい。

### (2) 協働的な学び

→学び合う雰囲気向上、多面的・総合的に考える力などが身に付いた。

### (3) ESDの視点と社会科学習のつながり

→社会科の問題解決型の授業展開により、SDGsを自分ごととして考え表現しようとする児童が増えた。



# VIII 考察

個別最適な学び  
(自由進度学習)

持続可能な社会の創り手の育成

協働的な学び

ESDの視点を取り  
入れた  
社会科学習

# IX 研究成果と課題

## 1 研究の成果

責任をもって  
学習を調整

ESDの資質・  
態度の向上

価値観・行動の変容

# IX 研究成果と課題

## 2 今後の課題

**課題解決に対して、社会や経済の  
仕組みに気づかせる！**

**ESDの推進を学校全体で！**

# ご静聴ありがとうございました

## ESDで世界を変えるための17の具体的目標

